



第3章

景観形成の理念・目標・基本姿勢

第3章 景観形成の理念・目標・基本姿勢

3-1 理念

第2章までの内容を踏まえ、この計画の理念として以下を定めます。

北の自然・都市・人が輝きを織りなす美しい札幌の景観を創り上げる

これまでの札幌市都市景観基本計画では「透明感と輝きをもった美しい北の都市をつくりあげる」を基本理念としていました。

この計画では、これまでの基本理念と1-4(2)の主要課題を踏まえ、以下のような考え方に基づき、理念を整理しました。

- ・積雪寒冷という北の風土の中で、「自然」と「都市」が近接していることが札幌の大きな魅力の一つ
- ・今後の景観形成にあたっては「自然」、「都市」はもとより「人」の活動も景観を構成する要素として幅広くとらえることが重要
- ・それぞれの要素が相互に調和し、引き立てあうことで多様な魅力を放つ美しい札幌の景観を、市民、事業者、行政等が共に手を携え、創り上げる。



旭山記念公園から都心部を望む

3-2 目標

3-1の理念に基づき、景観形成の目標を以下のとおり定めます。

1 札幌固有の景観特性と街の成り立ちを尊重し、秩序と調和のある景観づくり

2 地域の個性が際立ち、多彩な輝きを放つ景観づくり

3 多様な主体がつながり、持続的に取組を重ねる景観づくり

1 札幌固有の景観特性と街の成り立ちを尊重し、秩序と調和のある景観づくり

札幌全体の景観特性を踏まえることはもとより、地域ごとの街並み形成の履歴や現況を読み解き、これらに対して違和感のない、つり合いのとれた景観づくりを目指します。



札幌駅前通の街並み

2 地域の個性が際立ち、多彩な輝きを放つ景観づくり

地域ごとに異なる街の歴史や暮らし、街並みなどの特長を最大限に生かし、それぞれの地域で魅力的な景観を創出することが大切です。

地域の魅力ある景観づくりを積み重ねることで、札幌全体の景観の魅力を高めることを目指します。



郊外の住宅地（真栄地区）

3 多様な主体がつながり、持続的に取組を重ねる景観づくり

良好な景観を形成するためには、市民、事業者、行政等が関わり合いながら取り組むことが欠かせません。

札幌全体の景観を魅力的にするため、多様な主体が絶えず取組を積み重ねていくことを目指します。



市民の手によるベンチ塗り替え（大通公園）

3-3 基本姿勢

目標の実現に向けた取組を進めるにあたり、その基本的な姿勢を以下のとおり定めます。

ア 自然を守り、生かす

エ 地域の個性を見だし、伸ばす

イ 歴史を踏まえ、受け継ぐ

オ みんなが取り組み、広げる

ウ 札幌の「顔」を創り、磨く

カ 市は率先し、支える

ア 自然を守り、生かす

良好な景観を形成する上で、その背景となる、地形、植生、水辺などの「自然」は最も基本となる要素です。また、豊かな自然が身近に存在することが、札幌の大きな魅力の一つです。

札幌らしい景観を形成するために、自然を守り、生かすことを重視します。



秋の定山溪の溪谷

イ 歴史を踏まえ、受け継ぐ

札幌は、開拓使の設置から今日まで、高度経済成長による急激な人口増加に伴い、およそ150年という比較的短い期間で発展してきた都市です。その発展過程に応じて、碁盤の目に整然と区画された都心部、地下鉄等の沿線で比較的密度の高い市街地、ゆとりある郊外の住宅地など特徴ある街並みが形成されています。札幌らしい景観を形成するために、こうした歴史を読み解き、生かしながら未来へ受け継ぐことを重視します。



北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）

ウ 札幌の「顔」を創り、磨く

札幌の魅力を内外に発信していく上では、玄関口となる札幌駅や都心の貴重なオープンスペースである大通公園、郊外の魅力ある観光資源など、札幌の「顔」となる場所の魅力を高めることが必要です。特に、外国人観光客の増加や、北海道新幹線の札幌開業の決定を受け、その必要性がより一層高まっています。

こうした札幌の「顔」となる場所の景観の魅力を高めていくことを重視します。



初夏の大通公園

エ 地域の個性を見だし、伸ばす

札幌への市民の愛着を高めるためには、「顔」創りだけでなく地域ごとの魅力を高めていくことも欠かせません。

地域によって異なる街並み、特徴的な山並みや公園などを個性にとらえ、生かすことで、地域の景観の魅力を高めることを重視します。



路面電車が走る冬の街並み

オ みんなが取り組み、広げる

良好な景観形成は、市民、事業者、行政等多様な主体によって支えられるものです。

多様な主体が良好な景観の形成に向けて取り組み、その過程と成果を発信することで、取り組みの輪を広げていくことを重視します。



市民の手による雪像づくり（さっぽろ雪まつり）

カ 市は率先し、支える

良好な景観を形成するために、市は公共施設の整備等を行う際に先導的な役割を果たすことが求められます。

市はこうした役割を担うことにより、市民や事業者等の主体的な取組を喚起し、多様な手法で支えていきます。



ガラスのピラミッド（モエレ沼公園）



ミュンヘン大橋（豊平川）